

「新庁舎建設計画の見直しについて」 住民説明会結果報告（概要）

平成28年6月
千早赤阪村

1. 「新庁舎建設計画の見直しについて」住民説明会 参加実績

月 日	開始時刻	終了時刻	旧小学校区	場 所	住民参加者
平成28年5月27日（金）	19時30分	21時25分	小吹台小学校	千早小吹台小学校体育館	115人
5月28日（土）	14時00分	15時13分	赤阪小学校	くすのきホール2階会議室	53人
	19時30分	20時43分	多聞小学校	千早老人憩いの家	38人
5月29日（日）	14時00分	15時25分	千早小学校	旧千早小学校体育館	27人
	19時30分	21時19分	全域	くすのきホール2階会議室	77人
合 計					310人

2. 「新庁舎建設基本計画の見直しについて」住民説明会の主な質疑応答・意見

【主な質疑応答】

意見等	回答
庁舎建設について、これまで広報紙に2回程度掲載された程度でその他の情報は入ってこない。住民の皆さんのほとんどはどのような動きになっているのかわかっていない。ここに至って想定しなかった費用が発生したので、見直すということであるが、全くわからない。	住民の皆さんへの情報提供や意見の集約ということでは十分ではなかったと深く反省しています。今回の住民説明会もそのような反省のもと、今後、住民の皆さんとの信頼回復のため実施したもので、できる限り住民の皆さんとキャッチボールをしながら進めていきます。
現計画の考え方が甘かったのではないか。アクセス道路についても問題がありながら放っておいたのか。	庁舎建設については、自然災害がいつ発生するかわからない中、できるだけ早期に進めたいとの思いから取り組んできましたが、進め方について住民の皆さんとの関わりが不十分であったと反省しています。アクセス道路は、新設道路の建設を検討しましたが、全体事業費が大きく膨らみました。
代替案①の14億円、代替案②の15億円と示されているが、ここで積算できているのに、なぜ当初に積算できなかったのか。	当初の基本計画段階では、くすのきホール周辺での建設という方向のみで具体的な建設場所が決まっていなかったことから、具体的な積算ができませんでした。
今回事業費が膨らんだのもチェック機能が働いていなかったのではないか。村は小さな組織であるため役場職員もいろんな業務に携わっていると思うが、今後チェック機能がうまく働くように進めてほしい。	現在の村職員には建築職の職員がいません。村のような小規模自治体では専門職を雇用することが困難であり、行政職の職員が業務を進めてきました。チェック機能が十分ではなかったと反省しており、今後、十分なチェック機能が働くよう、体制も含めて取り組んでいきます。
現庁舎は、建替えが必要ということは理解できる。しかし、住民の利便性が全く考慮されていない。	基本計画では、庁舎建設について、防災面において危険区域外にあり、また将来的に発展の可能性が期待できるくすのきホール周辺が望ましいとの考えのもと進めてきました。またアクセス道路は大きな課題であることから新設道路を建設するというところで検討しましたが、道路整備費を含め全体事業費が大きく膨らんでしまいました。今回の説明会では建設場所も含め見直すということです。住民の皆さんの利便性も十分検討し、またご意見も十分踏まえながら進めていきます。

意見等	回答
住民説明会でいろんな意見が出たと思うが、これまでのやり方などを含め反省すべきところは反省し、また代替案も２案に固定するのではなく、流動的に検討いただきたい。	これまでの不十分な点を反省し、住民の皆さんのご意見を踏まえ進めていきます。
見直し案については、最終的に住民投票で決めてほしい。	今回の住民説明会などを通じて住民の皆さんのご意見を集約し、最終的に１５歳以上を対象に住民アンケートを実施し、その結果を踏まえ、決定していきます。
代替案②がよい。依存財源である村の財政を考えれば、あまり費用のかからない、また利便性を考慮し、村の誇れる庁舎にしてほしい。	庁舎建設によって住民サービスが低下したり負担が増えることはあってはならないことです。住民サービスへ影響を与えない、コンパクトで経費を抑制した庁舎建設を検討します。
住民が心配しているのは、いったい事業費をいくらにしたらよいのかだと思う。今回見直しを進めるなら住民の皆さんが事業費など判断できる資料を示してほしい。また、人口が減少するというのが、今後何人になるのか、税収はいくらになることを想定しているのか、３０年後の見通しを示してほしい。	財政シミュレーションは流動的な要素を多く含んでいます。よって毎年見直す必要があり、特に長期的な見通しは難しい側面があります。今後、見直しを進めていく中で、事業費も含め十分精査し、可能な限り長期的な視点で検討を進めていきます。
財政シミュレーションについて、起債（借金）が増加していく見通しになっているが、その場合、住民サービスは維持できるのか。	資料の財政シミュレーションでは現計画案（事業費約２９億円）のまま進めた場合の見通しであり、今後の見直しにより大きく変わります。住民サービスに影響を与えないよう、十分精査した上で検討していきます。
庁舎建設にあたり国などから援助はあるのか。	財政的な支援は一切ありません。
代替案②の現庁舎は、急傾斜地崩壊危険区域内ということであるが、南海トラフ地震など今後高い確率で発生すると言われていた中で、災害拠点である庁舎が倒壊や土砂などで崩壊することがないようにしてほしい。	直下型地震が発生した場合、直撃すればどのようなところでも大きな被害を受けることは避けられません。しかし、減災対策（災害の被害をできるだけ少なくする対策を講じること）については、可能な限り講じていきます。

【主な提案】

提案等
村民運動場に庁舎を建設してはどうか。B & G海洋センターもあり、庁舎やその他施設を集約することも可能ではないか。
保健センターを庁舎に転用し、保健センターをくすのきホールに移設してはどうか。
現在小学校が二校あるが、今後児童数が減少する中、一校に統合し、その跡地に庁舎建設ということも考えられるのではないか。
庁舎建設場所として現在の消防署の千早赤阪分署附近はどうか。
村有地を基本とするなら富田林高校分校跡地も考えられないか。
住民アンケートを実施する際には代替案②を基本に庁舎面積を現在の庁舎規模の約1 6 0 0 m ² にしたものを追加してほしい。